

III 臨床編
III-6 神経疾患

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
アイザックス症候群	あいざっくすしょうこうぐん	Isaacs syndrome		neuromyotonia	カリウムチャンネルに影響を与える抗体などにより神経の興奮を抑制しにくくなり、痙攣が持続するという症状が生じる自己免疫疾患。
IgG4関連疾患	あいじいじいふおーかんれんしっかん	IgG4-related disease	IgG4-RD		血中IgG4高値に加え、リンパ球とIgG4陽性形質細胞の著しい浸潤と著明な線維化により、同時性あるいは異時性に全身諸臓器に腫大や結節・肥厚性病変などを認める原因不明の疾患。
亜急性壊死性脊髄炎	あきゅうせいえいせいせいきずいえん	subacute necrotizing myelitis			下肢の反射亢進、痙性に始まり、徐々に痙性対麻痺に移行する疾患。
亜急性硬化性全脳炎	あきゅうせいこうかせいぜんのうえん	subacute sclerosing panencephalitis	SSPE		変異麻疹ウイルスによる中枢神経系への遅発性ウイルス感染症。
亜急性小脳変性症	あきゅうせいしょうのうへんせいしょう	subacute cerebellar degeneration		傍腫瘍性小脳変性症	悪性腫瘍に伴い失調による歩行障害や言語障害を比較的高速に発症する疾患。
悪性症候群	あくせいしょうこうぐん	malignant syndrome		syndrome malin, neuroleptic malignant syndrome	精神神経用薬などにより引き起こされる、高熱・発汗、意識障害、錐体外路症状、自律神経症状、横紋筋融解症などの症状。
アストロサイト	あすとりさいと	astrocytes			哺乳類の脳の中で最も数が多いグリア細胞で、灰白質全体に分布しており、脳の機能と可塑性を調節したり、血管系とニューロンとを結びつけ、血流からニューロンへグルコースなどの栄養物質を供給する働きを担う。
アセチルコリン受容体	あせちるこりんじゅようたい	acetylcholine receptor	AChR		神経筋接合部の筋肉側の膜表面に存在する5つのサブユニットからなる糖タンパクで、神経伝達物質であるアセチルコリンが反応する。重症筋無力症の主要な標的抗原。
アテトーシス	あてとーしす	athetosis		アテトーゼ	ゆっくりとした、屈曲した、ねじれるような動作が休みなく起こる、特徴的な不随意運動。
アトピー（性）脊髄炎	あとびー（せい）せきずいえん	atopic myelitis			アトピー性皮膚炎や気管支喘息、アレルギー性鼻炎などの疾患に伴って起こる脊髄炎。
アミロイド	あみろいど	amyloid			タンパク質の形や性質が変わり、特殊な構造を有する不溶性線維性異常タンパク質となったもの。器官への蓄積によりアミロイドーシスを生じる。
アミロイドアンギオパチー	あみろいどあんぎおばちー	amyloid angiopathy			脳皮質や脳軟膜の動脈にアミロイド沈着する病態で、脳虚血や大脳皮質あるいは皮質下に限局した多発性出血をきたす疾患。
アミロイドーシス	あみろいどーしす	amyloidosis			アミロイドがさまざまな臓器に沈着し障害を引き起こす疾患。
アルギル化水銀中毒	あるぎるかすいぎんちゅうどく	alkyl mercury poisoning		Hunter-Russel症候群、水俣病	メチル水銀中毒による四肢の知覚異常、会話に使用する筋肉の失調・麻痺による発音障害、聴力障害、歩行失調、周辺部から中心に向かって進む視野狹窄などの症状。
アレルギー性肉芽腫性血管炎	あれるぎーせいにくげしゅせいけっかんえん	allergic granulomatous angitis	EGPA	Churg-Strauss syndrome、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	気管支炎喘息発作と末梢血好酸球増多を有する症例に、血管炎を生じ、末梢神経炎、紫斑、消化管潰瘍、脳硬塞・脳出血・心筋梗塞・心外膜炎などの臨床症状を呈する疾患。
アレルギー性ニューロパチー	あれるぎーせいにゆーろばちー	allergic neuropathy			アレルギー性または免疫学的機序による末梢血管障害の総称。
一次性進行型多発性硬化症	いちじせいしんこうがたはつせいこうかしょう	primary progressive multiple sclerosis	PPMS		発症時より寛解期を認めず持続的な進行を呈する中枢神経系脱髄疾患。
インフルエンザ性髄膜炎	いんふるえんざせいまいくえん	influenzal meningitis			インフルエンザウイルスによる髄膜炎で、髄膜刺激症状を呈し、意識障害等の脳炎症状を欠く場合。
インフルエンザ性脳炎	いんふるえんざせいのうえん	influenzal encephalitis			インフルエンザウイルスによる脳炎で、幼児に多く、発熱に続き、痙攣・意識障害・異常行動などがみられ、致死性的または後遺症が残ることもある。
インフルエンザ脳症	いんふるえんざのうしょう	influenzal encephalopathy			インフルエンザウイルス感染による脳障害で、発熱後、急速に神経障害・意識障害を発症。急性壊死性脳症、ライ症候群、出血性ショック脳症（HSE）症候群などに分類されている。
ウイルス性髄膜炎	ういるすせいまいくえん	viral meningitis			ウイルスに起因する髄膜の炎症で、エンテロウイルス感染が最も多く、夏期に多い。年長児以降では髄膜刺激症状を認めるが、乳児では認めないことも多い。予後は比較的良好。
ウイルス性脳炎	ういるすせいのうえん	viral encephalitis			ウイルスに起因する脳炎。かぜ症状に続き、意識障害、痙攣、異常行動、不随意運動などで発症することが多く、重症の場合には後遺症や死亡例がみられる。
ウィルソン病	ういるそんびょう	wilson disease		肝レンズ核変性症	銅代謝の先天異常によって起こる常染色体劣性遺伝性疾患で、肝硬変、錐体外路症状を主徴とする。
ウェーバー・クリスチャン病	うえーばー・くりすちゃんびょう	Weber-Christian disease		脂肪膜炎症候群	再発性発熱性非化膿性結節性皮下脂肪膜炎。
ウエストナイル熱	うえずとないるねつ	west nile fever			ウエストナイルウイルスによる突然の発熱（39℃以上）、頭痛、筋肉痛、時に消化器症状、発疹を特徴とする感染症。
ウエストナイル脳炎	うえずとないるのうえん	west nile encephalitis			ウエストナイルウイルスによる筋力低下、頭痛、意識障害、痙攣等を伴う脳炎。
運動過多（症）	うんどうかた（しょう）	hyperkinesias (-sis)			患者の意図によるものでない運動の過剰（症）。
運動緩慢	うんどうかんまん	bradykinesia		寡動	動作が小さく遅くなった状態。
運動減少（症）	うんどうげんしょう（しょう）	hypokinesia (-sis)		寡動、無動	随意運動の減少または欠如。
運動時振戦	うんどうじしんせん	kinetic tremor			運動時に出現するか、あるいは強くなるふるえ。
運動失調（症）	うんどうしつちょう（しょう）	ataxia			運動課題の遂行に際して、運動が協調性なく拙劣であること。
運動終板	うんどうしゅうばん	motor end-plate			筋肉内にみられる運動神経線維の終末分枝。
運動神経	うんどうしんけい	motor nerve			運動を司る神経およびその経路。
運動神経伝達速度	うんどうしんけいでんたつそくど	motor (nerve) conduction velocity	M (N) CV		運動神経の神経伝導速度。
運動性ニューロパチー	うんどうせいにゆーろばちー	motor neuropathy			運動神経障害。
運動ニューロン	うんどうにゆーろん	motoneuron, motor neuron			運動を司る神経系または神経単位。
運動ニューロン疾患	うんどうにゆーろんしっかん	motor neuron disease	MND		筋肉の運動を支配する神経系統だけが、選択的に侵される原因不明の変性疾患の総称。
エイズ脳症	えいずのうしょう	AIDS dementia complex			HIV感染末期、すなわち最終段階で発症する脳症。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
壊死性筋炎	えしせいきんえん	necrotizing autoimmune myopathy			筋炎の中でも壊死再生線維の多発を主体とし、炎症性リンパ球浸潤の乏しい病理像を特徴とする病型で、臨床的には、四肢近位部優位の左右対称性の筋力低下と筋萎縮、血清CK高値(4000～13000 IU/L)が特徴。
エпитープ	えびとーぷ	epitope			抗体やT細胞抗原レセプター（TCR）に特異的に認識される抗原上の化学構造。すなわち抗原決定基のこと。
M波	えむは	M-wave			運動神経の神経幹を刺激した時に末端の支配筋より生じる筋活動電位。
嚥下困難	えんげこんなん	difficulty in swallowing, swallowing			疾病や老化などの原因により飲食物の咀嚼や飲み込みができなくなる病態。
嚥下障害	えんげしょうがい	dysphagia			疾病や老化などの原因により飲食物の咀嚼や飲み込みが困難になる障害。
塩酸エドロフォニウム試験	えんさんえどろふおにうむしけん	edrophonium chloride test		アンチレックステスト	アセチルコリンの分解を阻害する薬である抗コリンエステラーゼ薬(塩酸エドロフォニウム)を静脈注射し、筋無力症状が改善するかを見る検査。
横断性脊髄炎	おうだんせいせきずいえん	transverse myelitis			脊髄のあるレベルで広範な炎症が起こることにより生じる病態の総称。
横断性脊髄症	おうだんせいせきずいしょう	transverse myelopathy			脊髄のあるレベルで広範な障害による病態の総称。
オリゴクローナル(IgG)バンド	おりごくろーなる(あいじーじー)ばんど	oligoclonal (IgG) band			髄液タンパクの電気泳動においてγ-グロブリン領域に幅狭く濃染した数本のバンドが出現するものを指し、その本態は少数のクローンから成る局所産生IgG。
オリゴデンドロサイト	おりごでんとろさいと	oligodendrocyte			いくつかの短い突起を有する細胞で、神経伝達速度を上げるためのミエリン鞘を作るグリア細胞の一つ。
下位運動ニューロン	かいうんどうにゅーろん	lower motor neuron			細胞体と樹状突起が中枢神経系内に存在し、軸索は末梢神経となって伸び筋線維とシナプスするニューロン。
下位運動ニューロン疾患	かいうんどうにゅーろんしっかん	lower motor neuron disease			運動ニューロン疾患の中で下位運動ニューロン障害の強いタイプ。
海馬	かいば	hippocampus			大脳辺縁系の一部で特徴的な層構造をもち、脳の記憶や空間学習能力に関わる脳の器官。
可逆性後頭葉白質脳症	かぎやくせいこうとうようはくしつのうしょう	posterior reversible encephalopathy syndrome	PRES		意識障害・痙攣発作・頭痛・視覚障害を症状とし、後頭葉白質に可逆性的変化をきたす脳症。
核間性眼筋麻痺	かくかんせいがんきんまひ	internuclear ophthalmoplegia	INO	MLF症候群	外転神経核から動眼神経核をつなぐ内側縦束（MLF）の障害。
拡散強調画像	かくさんきょうちやうがぞう	diffusion weighted image	DWI		水分子の拡散運動を画像化したMRIの撮像法で、脳梗塞の早期診断などに有用。
核上性眼筋麻痺	かくじょうせいがんきんまひ	supranuclear ophthalmoplegia			動眼神経の核より上のレベル障害で前頭葉皮質、後頭葉皮質、橋・中脳部、上丘レベルの障害に起因する眼球運動障害。
家族性アミロイドーシス	かぞくせいあみろいどーしす	familial amyloidosis			アミロイドと呼ばれる不溶性の物質が体内に蓄積し、手、足をはじめ肝臓、心臓など様々な臓器の働きに障害を引き起こす病気。
家族性アミロイドポリニューロパチー	かぞくせいあみろいどぼりにゅーろばちー	familial amyloid polyneuropathy		家族性アミロイド多発ニューロパチー	遺伝的に変異を起こしたトランスサイレチン（TTR）、ゲルソリン、アポAIなどが前駆タンパクとなって線維状の構造をもつアミロイドと呼ばれる特異なタンパク質が、神経節を含む末梢神経、自律神経系や他の組織に沈着することにより臓器障害を引き起こす全身性アミロイドーシス。
脚気ニューロパチー	かっけにゅーろばちー	beriberi neuropathy			ビタミンB1の欠乏によって末梢神経障害をきたす疾患。
褐色細胞腫	かっしょくさいぼうしゅ	pheochromocytoma			副腎髄質や傍神経節から発生するカテコールアミン産生腫瘍。
括約筋障害	かつやくいんしょうがい	sphincter disturbance			尿道括約筋、肛門括約筋障害の総称。
感覚解離	かんかくかいり	dissociation of sensibility		解離性感覚障害	感覚系の伝導路のうち一部の伝導路が障害され、他は障害されていない状態。
感覚過敏	かんかくかびん	hyperesthesia			感覚が過敏になっている状態。
感覚鈍麻	かんかくどんま	hyp(o)esthesia			感覚が鈍くなっている状態。
感覚ニューロン	かんかくにゅーろん	sensory neuron			感覚を伝達する神経単位。
眼球運動	がんきゅううんどう	external ocular movement, eye movement, ocular movement	EOM		眼球の随意運動。
癌性小脳変性（症）	がんせいしょうのうへんせい(しょう)	carcinomatous cerebellar degeneration			悪性腫瘍に伴う小脳変性症。
感染後脳脊髄炎	かんせんごのうせきずいえん	post-infectious encephalomyelitis			感染後に発症する脊髄炎。
感染後脳炎	かんせんせいのうえん	post-infectious encephalitis			感染後に発症する脳炎。
球後視神経炎	きゅうごしんしんけいえん	retrobulbar neuritis			眼球後方の視神経に起こる炎症による視機能障害。
急性炎症性脱髄性ポリニューロパチー	きゅうせいえんしょうせいだつずいせいぼりにゅーろばちー	acute inflammatory demyelinating polyneuropathy	AIDP	GBS	急性の運動麻痺をきたす末梢神経障害でとくに脱髄性的変化の強いもの。
急性横断性脊髄炎	きゅうせいおうだんせいせきずいえん	acute transverse myelitis			脊髄のあるレベルで急性に広範な炎症が起こることにより生じる病態。MSやNMOで起こる。
急性散在性脳脊髄炎	きゅうせいさんざいせいのうせきずいえん	acute disseminated encephalomyelitis	ADEM		ウイルス感染後やワクチン接種後あるいは特発性に生じるアレルギー性の脱髄疾患。
急性出血性脳炎	きゅうせいしゅっけつせいのうえん	acute hemorrhagic encephalitis			病理学的に出血を伴う脳炎の総称。
急性出血性白質脳炎	きゅうせいしゅっけつせいはくしつのうえん	acute hemorrhagic leukoencephalitis		Hurst脳炎	感染後ADEMの劇症型で症状の進展が速く、重症。
急性小脳性運動失調症	きゅうせいしょうのうせいうんどうしつちやうしょう	acute cerebellar ataxia			水痘や麻疹などのウイルス感染後の乳幼児に発症する小脳性失調症。
急性自律神経性感覚性ニューロパチー	きゅうせいじりつしんけいせいかんかくせいにゅーろばちー	acute autonomic and sensory neuropathy			急性の自律神経障害を主徴とする末梢神経障害で感覚神経障害を伴うもの。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
急性特発性汎自律神経異常症	きゅうせいとくはつせいはんじりつしんけいいじょうしょう	acute idiopathic pandysautonomia	AIPD		急性に広範な自律神経障害をきたす神経疾患。
急性辺縁系脳炎	きゅうせいへんえんけいのうえん	acute limbic encephalitis			亜急性に近時記憶障害や痙攣、見当識障害をきたす重篤な脳疾患であり、原因としてウイルス感染や細菌感染、腫瘍随伴、自己免疫などがある。自己免疫性脳炎は、主に成人に発症し、年間約700例と推定されている。自己免疫性脳炎は、抗NMDA型グルタミン酸受容体抗体などの、経細胞表面に発現する蛋白質に対する抗体（自己抗体）による神経細胞の機能障害により発症する。
胸腺摘除（術）	きょうせんてきじょ（じゅつ）	thymectomy			重症筋無力症や胸腺腫で胸腺を摘出する手術。
ギラン・バレー症候群	ぎらん・ばれーしょうこうぐん	Guillain-Barre´ syndrome	GBS		急性の運動麻痺をきたす末梢神経障害。
筋萎縮性側索硬化症	きんいしゅくせいそくさくこうかしょう	amyotrophic lateral sclerosis	ALS		運動ニューロンが変性する進行性の難病。
筋無力症性クライシス	きんむりょくしょうせいくらしいしす	myasthenic crisis		筋無力症性クリーゼ	重症筋無力症の急性増悪、嚥下障害や呼吸筋麻痺を伴い、挿管・人工呼吸管理が必要となる状態。
Clinically isolated syndrome	くりにかるあいそれいていっどしんどろーむ	clinically isolated syndrome	CIS		多発性硬化症の85%は視神経、脳幹または脊髄におけるClinically isolated syndromeと呼称される最初は単一の脱髄性症状で発症する。
グルタミン酸受容体	ぐるたみんさんじゅようたい	glutamate receptor			グルタミン酸を主として受容する受容体群で中枢神経系のシナプス部に多く発現しており、シナプス可塑性と記憶・学習に深く関わる。
軽微症状	けいびしょうじょう	minimal manifestations			重症筋無力症のMGFA（MG Foundation of America）において、軽微な筋力低下は存在するが、日常生活には支障がない状態と定義される。
血液神経関門	けつえきしんけいかんもん	blood-nerve barrier	BNB		末梢神経の内部環境を維持する機構で、血液と末梢神経系の組織液との間の物質交換を制限する機構。
血液脳関門	けつえきのうかんもん	blood-brain barrier	BBB		血液と脳（そして脊髄を含む中枢神経系）の組織液との間の物質交換を制限する機構。
原発性（全身性）アミロイドーシス	げんぱつせい（ぜんしんせい）あみろいどーしす	primary (systemic) amyloidosis			モノクローン免疫グロブリン鎖からなる線維タンパクが主要臓器に蓄積するという特徴を有するまれな疾患。
原発性中枢神経血管炎	げんぱつせいちゅうすうしんけいけっかんえん	primary central nervous system vasculitis			全身性の血管炎を伴わず、中枢神経系の血管に限局して生じる血管炎。
顕微鏡的多発血管炎	けんびきょうてきたはつけっかんえん	microscopic polyangiitis	MPA		抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎症候群のうち、肉芽腫性病変のみられないものを指す。細動脈や毛細血管の病変を主体とする壊死性血管炎をきたす。
抗アクアポリン4抗体	こうあくあぽりんふおーこうたい	anti-aquaporin4 (AQP4) antibody			視神経脊髄炎に関連する水チャネルに対する抗体。
抗アセチルコリンレセプター抗体	こうあせちるこりんれせぷたーこうたい	anti-acetylcholine receptor antibody	抗AChR抗体		神経接合部に存在するアセチルコリン受容体に対する自己抗体である。重症筋無力症患者で特異的に検出される。
抗amphiphysin（アンフィフィシン）抗体	こうあんふいふいしんこうたい	anti-amphiphysin antibody			stiff-man症候群に関連する自己抗体の一種。
抗SRP抗体	こうえすあーるびーこうたい	anti-signal recognition particle antibody			炎症性筋疾患の患者血清中に存在する自己抗体で、シグナル認識粒子（signal recognition particle: SRP）に対する自己抗体。
抗NH2 terminal of alpha-enolase 抗体	こうえぬえいちつーたーみなるおぶあるふあえのらーぜこうたい	anti-NH2 terminal of alpha enolase antibody	抗NAE抗体		α -エノラーゼのN末端領域に対する自己抗体であり、橋本脳症患者において検出されることがある。
抗NMDA受容体抗体脳炎	こうえぬえむでいえいじゅようたいこうたいのうえん	anti-NMDA receptor encephalitis			卵巣奇形腫に随伴する傍腫瘍性脳炎であり、NMDA受容体の細胞外成分に対する抗体（抗NMDA受容体抗体）を有する自己免疫性脳炎。
抗N-methyl-D-aspartate 受容体抗体	こうえぬめちるでいーあすばるてーとじゅようたいこうたい	anti-NMDA receptor antibody	anti-NMDAR		急性辺縁系脳炎・脳症の病像を呈することが多く、卵巣奇形腫を有する若年女性に好発する。精神症状、記憶障害、けいれん、意識障害、呼吸不全、不随意運動、自律神経症状などを呈する。多くは免疫療法に反応して長期的には予後が良好であるが、一部は重篤な後遺症を残す。患者髄液・血清中にNMDA受容体に対する自己抗体を生じ、病勢と並行して推移する。
抗MOG抗体関連疾患（MOGAD）	こうえむおーじーこうたいかんれんしっかん	anti-MOG antibody-associated disease	MOGAD		MOG を標的とする自己抗体。MOG 抗体が中枢神経に炎症性病変をきたす疾患。
抗LMI抗体	こうえるえむわんこうたい	anti-LMI antibody			LMIはミエリンに局在する糖脂質である。抗LMI抗体は急性炎症性脱髄性多発根神経炎で検出されることがある。
抗LDL受容体関連タンパク質4	こうえるでいえるじゅようたいかんれんたんぱくしつぷおー	low-density lipoprotein receptor-related protein 4			LDL受容体ファミリーの一群に属する1回膜貫通型蛋白質で、骨や各臓器における発現が確認されており、神経系にも大脳など広範に発現している。神経筋接合部においてはアセチルコリン受容体、MuSK同様、神経筋接合部形成に必須である。
高カリウム血性周期性四肢麻痺	こうかりうむけつせいしゅうけいししまひ	hyperkalemic periodic paralysis			周期性四肢麻痺で高カリウム血性の場合に起こるもので第17染色体にあるナトリウムチャンネルの遺伝子異常が報告されている。
抗カリウムチャンネル抗体	こうかりうむちゃんねるこうたい	anti-potassium channel antibody			Isaacs症候群、辺縁系脳炎等に関連する自己抗体。
抗ガングリオシド抗体（糖脂質抗体）	こうがんぐりおしどこうたい	antiganglioside antibody			Guillain-Barré 症候群（GBS）や Fisher 症候群（FS）等に特異的にみられる各種ガンリオシドを認識する自己抗体の総称。
抗GABA _B 受容体抗体	こうぎやばじゅようたいこうたい	anti-GABA _B receptor antibody	anti-GABA _B R		亜急性経過の辺縁系脳炎を呈する。患者血清・髄液中にGABA受容体に結合する抗体が検出され、けいれんなどの症状を生じる。
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体	こうきんとくいてき（ちろしん）きなーぜこうたい	anti-muscle specific tyrosine kinase antibody	抗MuSK抗体		抗アセチルコリン受容体（AChR）抗体陰性の重症筋無力症と関連する自己抗体の一種。
抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体	こうぐるたみんさんでかるぼきしらーぜこうたい	anti-glutamic acid decarboxylase antibody	抗GAD抗体		膵β細胞などに存在するグルタミン酸デカルボキシラーゼに対する自己抗体である。1型糖尿病の判定補助や発症予知に有用である。
高クレアチンキナーゼ血症	こうくれあちんきなーぜけっしょう	hyper-creatine kinasemia	CKemia		血清クレアチンキナーゼが高値の状態。
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	こうこうじょうせんぺるおきだーぜこうたい	anti-thyroid peroxydase antibody			甲状腺ホルモン合成に関わるペルオキシダーゼに対する自己抗体である。甲状腺障害性が認められており、自己免疫性甲状腺疾患の病態に関与する。
抗コリンエステラーゼ薬	こうこりんえすてらーぜやく	anticholinesterase agent			生体内のコリンエステラーゼを不活性化することにより、アセチルコリンの分解を阻害し、コリン作動性神経と効果器官の結合部位においてアセチルコリンを蓄積させ、結果的にコリン作動性薬物として働くもの。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
抗Contactin-1抗体	こうこんたくちんわんこうたい	anti-contactin-1 antibody			傍絞輪部のグリア側に存在し、軸索側のNF-155やCaspr-1と複合体を形成し、傍絞輪部における軸索グリア接合に関与している膜貫通型蛋白であるContactin-1に対する抗体で、Guillain-Barré症候群や慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの一部で陽性になる。
抗GM1抗体	こうじーえむわんこうたい	anti-GM1 antibody			神経組織に広範に存在しているガングリオシドのGM1に対する抗体である。ギランバレーの発症に関わる。
抗GQ1 b 抗体	こうじーきゅーわんびーこうたい	anti-GQ1b antibody			GQ1bは外眼筋を支配する脳神経の傍絞輪部ミエリンに局在が示されている。外眼筋麻痺と強い相関があり、ギランバレー症候群の重型であるフィッシャー症候群で陽性となる。
甲状腺中毒（性）昏睡	こうじょうせんちゅうどく（せい）こんすい	thyrotoxic coma		甲状腺クリーゼ	甲状腺機能亢進患者において、甲状腺中毒症が急速かつ高度に増悪した場合に、意識障害から昏睡になる病態。
甲状腺中毒性ミオパチー	こうじょうせんちゅうどくせいみおぱちー	thyrotoxic myopathy			甲状腺機能亢進症に合併する筋症状で近位筋優位の筋力低下が主な症状。
高浸透圧高血糖非ケトン性昏睡	こうしんどうあつせいこうけつとうひけとんせいこんすい	hyperosmolar hyperglycemic nonketotic coma			糖尿病で高血糖から高浸透圧となって昏睡状態に陥る病態。
抗低密度リボタンパク質受容体関連タンパク質4抗体	こうていみつどりぼたんぱくくしつじゅようたいかんれんたんぱくくしつふおーこうたい	anti-low density lipoprotein receptor-related protein 4 antibody	抗LRP4抗体		低密度リボタンパク質受容体関連タンパク質4 (LRP4) はLDL受容体ファミリー群に属する1回膜貫通型タンパク質である。抗LRP4抗体は一部の重症筋無力症患者で検出される。
抗電位依存性カリウムチャンネル抗体	こうでんいいぞんせいかりうむちゃんねるこうたい	anti-voltage-gated potassium channel (anti-VGKC) antibody	anti-VGKC		Isaacs症候群、辺縁系脳炎等に関連する自己抗体。
抗電位依存性カルシウムチャンネル抗体	こうでんいいぞんせいかるしうむちゃんねるこうたい	anti-voltage-gated calcium channel antibody	anti-VGCC		Lambert-Eaton筋無力症候群に関する自己抗体。
後天性免疫不全症候群	こうてんせいめんえきふぜんしょうこうぐん	acquired immunodeficiency	AIDS		HIV感染による免疫不全状態。
抗Neurofascin155抗体	こうにゅーろふあしんいちこうごうこうたい	anti-neurofascin 155 antibody			傍絞輪部のグリア側に存在し、軸索側のcontactin-1やCaspr-1と複合体を形成し、傍絞輪部における軸索グリア接合に関与している膜貫通型蛋白であるNeurofascin-155に対する抗体で、Guillain-Barré症候群や慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの一部で陽性になる。
抗VGKC抗体関連疾患	こうぶいじいけいしいこうたいかんれんしっかん	anti voltage gated potassium channel VGKC complex antibody disorders			神経筋接合部の運動終末側にある電位依存性カリウムチャンネル（VGKC）に対する自己抗体が病態に深く関与する傍腫瘍性神経疾患。抗VGKC抗体はIsaacs症候群の病因自己抗体。
抗補体療法	こうぼたいりょうほう	anti-complement therapy			補体介在性の自己免疫性疾患に対する補体を標的とした治療。
抗myelin associated glycoprotein抗体	こうみえりんあそしえいていどぐりこぶろていんこうたい	anti-myelin associated glycoprotein antibody			ミエリン随伴性糖蛋白自己抗体。末梢神経のミエリンに高濃度に存在し、硫酸化グルクロン酸と結合するオリゴ糖を認識する抗体。
抗ミエリン塩基性タンパク質抗体	こうみえりんえんきせいたんぱくくしつこうたい	anti-myelin basic protein antibody	抗MBP抗体		ミエリン塩基性タンパクは神経ミエリン鞘を形成する主要な蛋白である。多発性硬化症への進行リスクが増加すると報告されている。
抗myelin oigodendrocyte glycoprotein 抗体	こうみえりんおりごでんどうさいとぐりこぶろていんこうたい	anti-myelin oigodendrocyte glycoprotein antibody	抗MOG抗体		小児の亜急性散在性脳脊髄炎、成人の視神経炎、脊髄炎などで検出される抗体で、免疫療法に反応が良好であるが、再発が多い一群。
コリン作動性クリーゼ	こりんさどうせいくりーぜ	cholinergic crisis			コリンエステラーゼ阻害薬（抗ChE薬）による治療中に起こる呼吸困難を伴うアセチルコリン過剰症状の急激な悪化とされ、人工呼吸を要する状態。
再発寛解型多発性硬化症	さいはつかんかいがたはつせいこうかしょう	relapsing-remitting multiple sclerosis	RRMS		再発と寛解を繰り返すタイプの多発性硬化症。
Sulfated glucuronyl paragloboside	さるふえていっどぐるくるにるばらぐるぼしど	sulfated glucuronyl paragloboside			ミエリンの糖脂質であり、慢性後天性脱髄性多発根ニューロパチーに関与する。
自己免疫介在性脳炎	じこめんえきかいざいせいのうえん	autoimmne-mediated encephalitis			自己免疫学的機序が関連し発症する脳炎・脳症である。意識障害や痙攣、高次脳機能障害などが急性・亜急性に出現する病態を呈する。日本での報告が多い代表的な疾患として(NMDAR脳炎、VGKC複合体抗体脳炎、橋本脳症)があげられる。
自己免疫性自律神経障害	じこめんえきせいじりつしんけいしょうがい	autoimmune autonomic ganglionopathy	AAG		自律神経系が免疫異常の標的となる比較的新しい疾患概念で、抗自律神経節アセチルコリン受容体抗体が病原性自己抗体として病態の鍵となる。広範な自律神経症状以外に自律神経系外の症候（中枢神経系障害、感覚障害、内分泌障害）や併存症（膠原病、腫瘍）を呈する。
自己免疫性脳炎	じこめんえきせいのうえん	autoimmune encephalitis	AE		自己免疫機序による脳炎であり、標的となる抗原によって特徴は異なる。ステロイドパルス、IVIg、アフレキシスなどの免疫療法に奏功することが多いので、腫瘍の問題がなければ免疫療法を行う。
自己免疫性ノドパチー	じこめんえきせいのどぱちー	autoimmune nodopathy			ランビエ絞輪部に局在するさまざまな蛋白抗原を標的とするIgG4クラスの自己抗体が相次いで発見され、その抗体陽性例は特異な病像を呈することから、autoimmune nodopathyという新たな疾患概念が生まれた。
四肢麻痺	ししまひ	quadriplegia			四肢がすべて麻痺している状態。
視神経脊髄炎	ししんけいせきずいえん	optic neuromyelitis, neuromyelitis optica	NMOSD	Devic disease	視神経炎と脊髄炎を起こす自己免疫性疾患。
視神経脊髄型多発性硬化症	ししんけいせきずいがたはつせいこうかしょう	opticospinal form of multiple sclerosis	OSMS		視神経と脊髄を中心に多発性の病変を生じる多発性硬化症。
持続性伝導ブロックを伴う多発性脱髄性ニューロパチー	じぞくせいでんどうぶろっくをともなうたそうせいだつずいせいにゅーろぱちー	multifocal demyelinating neuropathy with persistent conduction block			伝導ブロックを伴う下位運動ニューロン疾患。
疾患修飾薬	しっかんしゅうしょくやく	disease-modifying drug	DMD		疾患の原因となっている物質を標的として作用し、疾患の発症や進行を抑制する薬剤。
実験のアレルギー性神経炎	じっけんてきあれるぎーせいしんけいえん	experimental allergic neuritis	EAN		自己免疫性末梢神経障害、ギラン・バレー症候群の動物モデル。
実験のアレルギー性脳炎	じっけんてきあれるぎーせいしんのうえん	experimental allergic encephalitis	EAE		多発性硬化症の動物モデル。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
実験のアレルギー性脳脊髄炎	じっけんできあるぎーせい のうせきずいえん	experimental allergic encephalomyelitis	EAE		多発性硬化症の動物モデル。
実験的自己免疫性重症筋無力症	じっけんできじこめんえき せいじゅうしょうきんむり よくしょう	experimental autoimmune myasthenia gravis	EAMG		アセチルコリン受容体で動物を免疫して発症させる筋無力症の動物モデル。
シデナム舞踏病	しでなむぶとうびょう	Sydenham chorea			A群連鎖球菌感染が原因で引き起こされる神経精神障害で、強迫観念、強迫行為、注意欠如および情動不安定が生じる。
周期性四肢麻痺	しゅうきせいししまひ	periodic paralysis			随意筋に発作性に反復する可逆性の弛緩性麻痺。
重症筋無力症	じゅうしょうきんむりよく しょう	myasthenia gravis	MG		神経筋接合部に対する自己抗体により神経筋伝達障害をきたす自己免疫性疾患。
重症疾患多発ニューロパチー	じゅうしょうしつかんたは つにゅうろぱちー	critical illness polyneuropathy			敗血症・SIRSと多臓器障害に陥った患者が、重度の軸索性ニューロパチーを発症することがあり、多くの例は重症疾患の回復後、人工呼吸器離脱困難ないし四肢の弛緩性麻痺が認められる。
手根管症候群	しゅこんかんしょうこうぐん	carpal tunnel syndrome	CTS		手関節にある手根管という正中神経が入っているトンネルで、正中神経が何らかの原因で圧迫されて第1-3指に痺れがくるもの。
腫瘍様脱髄性病変	しゅようようだつずいせい びょうへん	tumefactive demyelinating lesion			径2cm以上の腫瘍形態を示す脱髄病変で、周囲への mass effectや浮腫をともない多発性硬化症や急性散在性脳脊髄炎の亜型と考えられていた。しばしば亜急性に進行する意識障害や同名半盲、言語障害、けいれん、頭痛・嘔吐など、多発性硬化症としては非典型的な症状を示し、その病変が単一の初発巣として発見されることも多いために、脳腫瘍との鑑別がしばしば問題になる。
小舞踏症	しょうぶとうしょう	chorea minor			リウマチ熱の大症状の一つで、発症してから数カ月後に無意識のうちに手足が動いたり顔をしかめたりするもの。
自律神経ニューロパチー	じりつしんけいにゅうろぱ ちー	autonomic neuropathy			自律神経障害を主徴とする末梢神経障害。
神経筋シナプス	しんけいきんしなぷす	neuromuscular synapse			神経に生じた興奮を筋に伝え、筋を興奮・収縮させる構造。
神経筋接合部	しんけいきんせつごうぶ	myoneural junction, neuromuscular junction	NMJ		末梢神経が筋肉に接合する部分。
神経原性筋萎縮	しんけいげんせいきんい しゅく	neurogenic muscle (muscular) atrophy			骨格筋を支配している脊髄前角細胞（下位運動ニューロン）に原因があって筋肉が萎縮してくるもの。
神経原線維変化	しんけいげんせんいへんか	neurofibrillary change, neurofibrillary tangle	NFT		微小管結合タンパク質の一つであるタウタンパクが細胞質中で線維化し、沈着した病理像。
神経サルコイドーシス	しんけいさるこいどーしす	neurosarcoidosis			末梢神経障害としては顔面神経を中心とした脳神経障害が多くみられる。中枢神経サルコイドーシスは慢性に起こり、その病変部位により痙攣、意識障害、運動失調など、多彩な神経症状を呈する。
神経スウィート病	しんけいすういーとびょう	neuro-Sweet disease			発熱を伴う再発性の脳炎・髄膜炎で好中球増加や有痛性浮腫性紅斑などの皮膚症状を呈するものもある。
神経痛性筋萎縮症	しんけいつうせいきんい しゅくしょう	neuralgic amyotrophy			原因不明だが、ウイルス性または免疫性炎症過程が疑われる急性腕神経叢炎。
神経伝達	しんけいでんたつ	neurotransmission			一つのニューロンからもう一つのニューロンへ、あるいはニューロン以外の効果細胞へのシナプスを介したインパルス伝達。
神経伝導	しんけいでんどう	nerve conduction			神経線維を刺激（インパルス）が移動していくこと。
神経伝導検査	しんけいでんどうけんさ	nerve conduction study			誘発筋電図の一つで末梢神経を皮膚の上から電気で刺激することで反応が得られ、この反応を用いて神経の伝わる速さを測定したり、波形の分析を行う。
神経伝導速度	しんけいでんどうそくど	nerve conduction	NCV		末梢神経を皮膚の上から電気で刺激することで反応が得られ、この反応を用いて神経の伝わる速さを測定したもの。
神経毒	しんけいどく	neurotoxin			神経細胞に特異的に作用する毒のことで、通常、膜タンパク質とイオンチャネルとの相互作用によって効果を及ぼす。
神経皮膚炎	しんけいひふえん	neurodermatitis			神経系統の障害によってかゆみを生じ、これをかきむしっているうちに特異な皮疹を生ずるもの。
神経皮膚症候群	しんけいひふしょうこうぐん	neurocutaneous syndrome			皮膚に母斑が現れ、中枢神経系に腫瘍が発生する症状を伴う病気の総称。
神経ベーチェット症候群	しんけいべーちえつとしょ うこうぐん	neuro-Behçet syndrome			ベーチェット病の10-30%にみられ、急性型では脳幹、基底核周辺部、小脳を好発部位として、髄膜炎症状を伴い、慢性型では多幸症などの精神症状をきたし、進行すると人格荒廃、痴呆を呈する。
進行性多巣性白質脳症	しんこうせいたそうせいはい くしのうしょう	progressive multifocal leukoencephalopathy	PML		潜伏感染していたJCウイルスが免疫不全状態にある患者の脳内で活性化されて初めて病原性を現す稀な疾患。
振戦	しんせん	tremor			自分の意志で動かそうとしないのに不随意に手足や躯幹が動いてしまう現象。
振戦せん妄	しんせんせんもう	delirium tremens			発汗や頻脈、発熱、手指の振戦、不眠、幻覚や錯覚、興奮、不安などを伴うアルコール離脱症状。
髄膜炎	ずいまくえん	meningitis			脳軟膜の炎症性疾患。
髄膜刺激症候	ずいまくしげきしょうこう	meningeal irritation		meningeal sign、髄膜徴候	髄膜が刺激された時にみられる症候の総称で、項部硬直、ケルニッヒ徴候、ブルジンスキー徴候などのほか、頭痛、羞明、悪心、嘔吐など。
スウィート病	すういーとびょう	Sweet disease		好中球性皮膚症	発熱、末梢好中球増加、好中球浸潤性紅斑を三徴とする疾患で、好中球性皮膚症ともいう。
スティッフパーソン症候群	すていつふばーそんしょう こうぐん	stiff person syndrome			体幹および四肢の変動する硬直、有痛性の筋萎縮、課題特異的な恐怖症、過剰な驚愕反応、および腰椎の固定された過前弯などの強直性の変形からなる神経疾患。
ステロイドパルス療法	すてろいどばるすりょうほ う	steroid pulse therapy			メチルブ レドニゾロン1 g/日の点滴静注を3日間継続し、その後は高用量ステロイド療法に引き継ぐ治療法。
脊髄炎	せきずいえん	myelitis			脊髄の炎症性疾患の総称。
脊髄症	せきずいしょう	myelopathy		ミエロパチー	脊髄障害の総称。
セロトニン症候群	せろとんにんしょうこうぐん	serotonin syndrome			セロトニン作動系の薬剤との相互作用によって発生する脳内のセロトニン濃度が高すぎることによって引き起こされる症状（軽いものから、頭痛、めまい、嘔吐、昏睡、そして死亡）。
全身こむら返り病	ぜんしんこむらがえりびょう	syndrome of progressive muscle spasm, alopecia and diarrhea		里吉病	全身の筋肉のこむら返り、脱毛、下痢を伴う自己免疫性神経疾患。
全身性エリテマトーデス脳症	ぜんしんせいえりてまとー ですのうしょう	systemic lupus erythema tosis encephalopathy			全身性エリテマトーデス（SLE）に併発した中枢神経障害、末梢神経障害。
早期速攻性治療戦略	そうきそっこうせいちりょ うせんりやく	early fast-acting treatment strategy	EFT		カルシニューリンインヒビターを初期治療から用い、速効性治療を初期、維持期または増悪時の治療で積極的に繰り返し、症状改善を早め、かつ経口ステロイド量を抑制する治療戦略。
側頭動脈炎	そくとうどうみゃくえん	temporal arteritis			60歳以上の高齢者に発症する頭動脈とその分枝の動脈、特に側頭動脈の炎症を主徴とする原因不明の血管炎。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
体位性頻脈症候群	たいいせいひんみやくしょうこうぐん	postural orthostatic tachycardia syndrome	POTS		起立時の立ち眩み症状と起立時の著明な頻脈を特徴とした、若年女性に好発する症候群。
胎児性Fc受容体	たいじせいえふしーじゅようたい	neonatal Fc receptor			疾患の原因となるIgGの半減期の延長と作用持続の強化作用を持つ。
代謝性脳症	たいしやせいのうしょう	metabolic encephalopathy			代謝性の要因より引き起こされる脳機能障害の総称。
代謝性ミオパチー	たいしやせいみおぱちー	metabolic myopathy			糖質代謝異常、脂質代謝異常、その他のエネルギー代謝異常（ミトコンドリア異常を伴うもの等）、電解質代謝異常（周期性四肢麻痺）による筋疾患の総称。
脱髄性多発ニューロパチー	だいいずいせいたはつにゅーろぱちー	demyelinating polyneuropathy			髄鞘の障害で生じる末梢神経の疾患。
多巣性運動性ニューロパチー	たそうせいうんどうにゅーろぱちー	multifocal motor neuropathy			局所的な神経の絶縁体（髄鞘）の障害に伴い、神経の伝導がブロックされる疾患で、脱髄性末梢神経障害の一つ。
多巣性脱髄性ニューロパチー	たそうせいだつずいせいにゅーろぱちー	multifocal demyelinating neuropathy			局所的な神経の絶縁体（髄鞘）の障害に伴い、神経の伝導がブロックされる疾患で、脱髄性末梢神経障害の一つ。
多発血管炎性肉芽腫症	たはつつけかんえんせいにくげしゅしょう	granulomatosis with polyangiitis	GPA	ウエゲナー肉芽腫症	病理組織学的に、(1)全身の壊死性肉芽腫性血管炎、(2)上気道と肺を主とする壊死性肉芽腫性炎、(3)半月体形成腎炎を呈し、その発症機序に抗好中球細胞質抗体（ANCA）が関与する血管炎症候群。
多発神経炎	たはつしんけいえん	polyneuritis			多発性の末梢神経障害の総称。
多発性硬化症	たはつせいこうかしょう	multiple sclerosis	MS		中枢神経系の慢性炎症性脱髄疾患であり、時間的、空間的に多発するのが特徴。
多発性単神経炎	たはつせいたんしんけいえん	multiple mononeuritis, mononeuritis multiplex			末梢神経が左右非対称に複数で障害される状態。
多発性単ニューロパチー	たはつせいたんにゅーろぱちー	mononeuropathy multiplex			末梢神経が左右非対称に複数で障害される状態。
多発性内分泌腫瘍症候群	たはつせいないぶんびつしゅようしょうこうぐん	multiple endocrine neoplasia syndrome	MEN		いくつかの内分泌腺で非癌性（良性）あるいは癌性（悪性）の腫瘍または過形成となって症状を起こす病態。
多発性脳神経ニューロパチー	たはつせいのうしんけいにゅーろぱちー	multiple cranial neuropathy			脳神経が多発性に障害される状態。
多発ニューロパチー	たはつにゅーろぱちー	polyneuropathy			四肢の末梢神経（運動線維and/or感覚線維）が左右対称性に障害されるもの。
単クローン性免疫グロブリン	たんくろーんせいめんえきぐろぶりん	monoclonal immunoglobulin		Mタンパク、M-protein	形質細胞の単クローン性（腫瘍性）増殖により生じた免疫グロブリン（Mタンパク）。
単純ヘルペス脳炎	たんじゅんへるべすのうえん	herpes simplex encephalitis	HSE		単純ヘルペスウイルス1型（HSV-1）によって引き起こされる脳炎。
単神経炎	たんしんけいえん	mononeuritis			1本の末梢神経が障害された状態。
蛋白細胞解離	たんぱくさいぼうかいり	albuminocytologic dissociation			髄液中のタンパクが増加しているが細胞数は増えていない状態。
遅発性ジスキネジア	ちはつせいじすきねじあ	tardive dyskinesia	TD	遅発性ジスキネジー	抗精神病薬などのドーパミン遮断作用を有する薬剤の長期投与（数カ月以上）によって発現する常同的な不随意運動。
中枢神経限局性血管炎	ちゅうずうしんけいげんきょくせいけっかんえん	isolated angiitis of central nervous system			脳内の血管に生じた血管炎により症状をきたす神経疾患。
中枢神経性ループス	ちゅうずうしんけいせいーぶす	CNS lupus			中枢神経症状を呈し重症である。うつ状態、失見当識、妄想などの精神症状と痙攣、脳血管障害を示し、稀に髄膜炎、脳炎、脳神経障害もみらる。
中枢末梢連合脱髄症	ちゅうずうまつしょうれんごうだつずいしょう	combined central and peripheral demyelination	CCPD		中枢神経と末梢神経を同時に侵す脱髄性疾患であり、原因不明の希少な難治性疾患。
中毒性ニューロパチー	ちゅうどくせいにゅーろぱちー	toxic neuropathy			中毒による末梢神経障害の総称。
通常型多発性硬化症	つうじょうがたはつせいこうかしょう	conventional form of multiple sclerosis			欧米に多い大脳病変を主体とする多発性硬化症。
低カリウム血性周期性四肢麻痺	ていかりうむけつせいしゅうきせいししまひ	hypokalemic periodic paralysis			随意筋に発作性に反復する可逆性の弛緩性麻痺でKの低下を伴うもの、Caチャネル遺伝子の異常とされる。
手袋靴下型感覚消失	てぶくろくつしたがたかんかくしょうしつ	glove and stocking anesthesia			両手両足の遠位部優位の手袋や靴下を着けたような分布の感覚低下・障害。
電位依存性カルシウムチャンネル伝導ブロック	でんいゐぞんせいかるしうむちゃんねるでんどうぶろくく	voltage-dependent (gated) calcium channel conduction block			神経の脱分極に関連するCaイオンを通す細胞膜中の分子。
同心円性硬化症	どうしんえんせいこうかしょう	Balo's concentric sclerosis		バロー同心円硬化症	多発性硬化症の一種で脳に同心円状の病巣があるもの。
糖尿病性ニューロパチー	とうにょうびょうせいにゅーろぱちー	diabetic neuropathy			糖尿病に合併する末梢神経障害。
トルエン中毒	とるえんちゅうどく	toluene intoxication, toluene poisoning		シンナー中毒	有機溶剤の一種による中毒で、症状は麻酔作用により、嘔気、眩暈、意識喪失などを呈する。
トロサ・ハント症候群	とろさ・はんとしょうこうぐん	Tolosa-Hunt syndrome			眼窩先端部や上眼窩裂や海綿静脈洞前部周辺の硬膜炎による痛みのある肉芽腫性疾患。
ナタリズマブ	なたりずまぶ	natalizumab			細胞接着分子α4インテグリンに対するヒト化モノクローल抗体。多発性硬化症やクローン病等の治療に用いられる。
ナタリズマブ関連進行性多巣性白質脳症	なたりずまぶかんれんしんこうせいたそうせいはいくしつのうしょう	natalizumab-Associated Progressive Multifocal Leukoencephalopathy			ナタリズマブによる治療に関連して、多くの人に潜伏感染しているJCウイルスが、免疫力が低下した状況で再活性化して脳内に多発性の脱髄病巣を来す疾患。
鉛中毒	なまりちゅうどく	lead poisoning, plumbism, saturnism			重金属である鉛による中毒、末梢神経障害を生じる。
ナルコレプシー	なるこれがしー	narcolepsy			強い眠気の発作を主な症状とする神経疾患（睡眠障害）。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
二次性進行型多発性硬化症	にじせいしんこうがたはたつせいこうかしょう	secondary progressive multiple sclerosis	SPMS		再発と寛解を繰り返しながらも徐々に寛解時の状態が悪化していく多発性硬化症の病型。
New-onset refractory status epilepticus	にゅーおんせつとれふらくとりーすてーたすえびけぶていかす	NORSE			発熱後1週間程度で強直間代性痙攣を呈し、難治性のでんかんが継続する症候群であり、若年女性に好発し、髄液細胞数が軽度増加していて、脳MRIで側頭葉に病変を認めることが多いことが特徴。
乳児亜急性壊死性脳症	にゅうじあきゅうせいえいしせいもうしょう	infantile subacute nerotizing		Leigh脳症	乳幼児から始まる精神運動発達遅延で、とりわけ退行を伴うミトコンドリア代謝異常症。
ニューロパチー	にゅーろばちー	neuropathy			末梢神経の障害の総称。
ニューロフィラメント軽鎖	にゅーろふいらめんとけいさ	neurofilament Light chain			神経細胞間の情報伝達に重要な神経軸索突起の障害を反映する血液中のバイオマーカー。
尿毒症（多発）性ニューロパチー	にょうどくしょうせい（たはつ）にゅーろばちー	uremic polyneuropathy			慢性腎不全に伴う末梢神経障害。
脳炎	のうえん	cerebritis, encephalitis			脳実質の炎症で、発熱、意識障害、けいれん、髄膜刺激症状などを伴う。
脳幹脳炎	のうかんのうえん	brainstem encephalitis			脳幹部を中心に炎症・機能障害の起こるもの。
脳症	のうしょう	encephalopathy (-thia)			脳機能障害の症状である意識障害やけいれんを起こして、髄液（ずいえき）検査で炎症所見（細胞増加など）がないもの。
脳脊髄液	のうせきずいえき	cerebrospinal fluid	CSF	髄液	脳室系とクモ膜下腔を満たす、リンパ液のように無色透明な液体。
脳脊髄炎	のうせきずいえん	encephalomyelitis			脊髄を中心として、中枢神経系全体に急性の炎症が起きるもの。
白質脳症	はくしつもうしょう	leukoencephalopathy			主に大脳白質が障害される病態の総称。
橋本脳症	はしもとうしょう	hashimoto encephalopathy			慢性（橋本）甲状腺炎に伴う自己免疫性脳症。
パラプロテイン血症	ばらぶろていんけっしょう	paraproteinemia			B細胞の異常により単クローン性の免疫グロブリンやL鎖が血中、尿中に増加する状態で、形質細胞の悪性増殖により起こるものと明らかな形質細胞/B細胞系の腫瘍性疾患を認めないものの2種に大別される。
パラプロテイン血症性脱髄性多発根ニューロパチー	ばらぶろていんけっしょうせいだつずいせいたはつこんにゅーろばちー	paraprotein-associated demyelinating polyneuropathy		慢性後天性脱髄性多発根ニューロパチー	パラプロテイン血症を伴う末梢神経障害の総称であり、多くの病型がある。
反射性交感神経性ジストロフィー	はんしやせいきこうかんしんけいせいじすとろふいー	reflex sympathetic dystrophy	RSD	CRPS	侵害的な出来事の後に発生し、かつ一つの末梢神経の領域に局限することなく広がり、その出来事とは不均衡であるような症状を呈し、浮腫、皮膚血流の変化、疼痛のある部分における発汗機能の異常、あるいは異常感覚もしくは痛覚過敏を伴う症候群。
肥厚性脳硬膜炎	ひこうせいのうこうまくえん	hypertrophic pachymenigitis			肥厚性硬膜炎は、脳、脊髄硬膜の部分的またはびまん性の肥厚により、硬膜の肥厚部位に応じて頭痛、うっ血乳頭、脳神経麻痺、小脳失調、対麻痺などの神経症状を呈する。原因不明の特発性と続発性に分類される。続発性の場合、ANCA関連血管炎、ウェゲナー肉芽腫やサルコイドーシスなどの炎症性疾患や、細菌、真菌、結核などの感染、多臓器線維症などが原因として考えられている。また、IgG4関連疾患との関係も示唆されている。
非全身性血管炎症性ニューロパチー	ひぜんしんせいけっかんえんしょうせいにゅーろばちー	non-systemic vasculitic neuropathy			全身の血管炎症状を伴わず局所の血管炎で生じる末梢神経障害。
ビッカーstaff型脳幹脳炎	びっかーすたつがのうかんのうえん	bickerstaff brainstem encephalitis			眼球運動や運動失調、意識障害を三主徴とし、脳幹を病変の首座とする自己免疫疾患。
ヒトTリンパ球向性ウイルス脊髄症	ひとていーりんぱきゅうこうせいういるすせきずいえん	HTLV- I associated myelopathy	HAM	HTLV- I（関連）脊髄症	HTLV-I感染者に起こる、徐々に進行する瘰癧性対麻痺。
非ヘルペス性辺縁系脳炎	ひへるべすせいへんえんけいのうえん	non-herpetic limbic encephalitis			精神症状が前景にたつヘルペス脳炎以外の脳炎の総称。
フィタン酸	ふいたんさん	phytanic acid			フィタン酸は炭素数20の分枝脂肪酸で、そのままでは直接β酸化は受けられず、α酸化により炭素数19のプリスタン酸に分解された後、β酸化により分解さ急性の外筋筋麻痺・運動失調・腱反射消失を三徴とする免疫介在性ニューロパチーで、多くは上気道感染後に発症し、1-2週進行した後に自然経過で改善に向かう単相性の経過をとる。
フィッシャー症候群	ふいつしゃーしょうこうぐん	Fisher syndrome			筋線維内に線維性封入体が存在する筋炎。
封入体筋炎	ふうにゅうたいきんえん	inclusion body myositis			カフェ・オ・レ斑、神経線維腫を主徴とし、骨病変、眼病変、神経腫瘍、そのほか多彩な症候を呈する全身性母斑症であり、常染色体優性の遺伝性疾患。
フォン レックリングハウゼン病	ふおんれっくりんぐはうぜんびょう	von Recklinghausen disease		神経線維腫症 I 型	
複合性局所疼痛症候群	ふくごうせいきょくしょうとうしょうこうぐん	complex regional pain syndrome			組織損傷後に創傷が治癒した後も痛みが遷延する病態。
副腎白質ジストロフィー	ふくじんはくしつじすとろふいー	adrenoleukodystrophy	ALD		副腎不全と中枢神経系の脱髄を主体とするX連鎖性劣性形式の遺伝性疾患。
ブラウン・セカール症候群	ぶらうん・せかーるしょうこうぐん	Brown-Sequard syndrome			脊髄の半側障害で起こる同側の運動神経の麻痺と病変部以下の位置感覚の欠如、対側の疼痛感覚と温度感覚の欠如。
ペルオキシソーム病	ぺるおきしそーむびょう	peroxisomal disease			細胞内ペルオキシソームに局在する酵素・タンパクの単独欠損症と、それらのタンパクをペルオキシソームに局在させるために必要なPEXタンパクの遺伝子異常症（ペルオキシソーム形成異常症）の2つに分けられ、中枢神経系を中心に対象となる臓器に障害を来して多岐にわたる臨床像を呈する。
ヘルペス髄膜脳炎	へるべすずいまくのうえん	herpetic meningoencephalitis			ヘルペスウイルスによる急性の髄膜炎・脳炎。
ベル麻痺	べるまひ	Bell's palsy		特発性顔面神経麻痺	原因不明の急性末梢性顔面神経麻痺。
傍腫瘍性神経症候群	ぼうしゅようせいしんけいしょうこうぐん	paraneoplastic neurologic syndrome			悪性腫瘍の症例において、腫瘍細胞と正常細胞とのあいだに交差性が成立するために、正常の神経細胞に対する自己抗体が産生され、自己免疫的機序で神経障害をきたすもの。
傍腫瘍性ニューロパチー	ぼうしゅようせいにゅーろばちー	paraneoplastic neuropathy			悪性腫瘍に伴い末梢神経障害をきたすもの。
傍腫瘍性辺縁系脳炎	ぼうしゅようせいへんえんけいのうえん	paraneoplastic limbic encephalitis			悪性腫瘍に伴い精神症状を主体とする脳症症状をきたす疾患。
ポエムズ症候群	ぽえむずしょうこうぐん	POEMS syndrome		Crow-Fukase症候群、高月病、PEP症候群	形質細胞腫が基礎に存在し、多発ニューロパチーを必須として、その他の臨床症状として臓器腫大（肝脾腫）、内分泌異常（女性性乳房、甲状腺機能異常）、Mタンパク血症、皮膚症状（色素沈着、剛毛、血管腫）、骨硬化病変など多彩な症状を併存する症候群。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
ホモシステニン尿症	ほもしすちんにようしょう	homocystinuria			アミノ酸の中のメチオニン代謝産物であるホモシステンを変換する酵素の先天的欠損により血中にホモシステニンやメチオニンが蓄積し、尿中に大量に排泄される疾患。
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	まんせんえんしょうせいだつずいせいいたはつこんにゅーろぱちー	chronic inflammatory demyelinating poly-radiculoneuropathy	CIDP		自己免疫機序によって発症するとされ、対称性に運動、感覚が侵される多発性根神経炎で上下肢の遠位部または近位部に脱力と感覚障害をきたすもの。
ミエリン	みえりん	myelin			神経細胞に機能を与える役割を持つ鞘様の脂質に富む構造体。
ミエリン関連糖タンパク質	みえりんかんれんとうたんぱくしつ	myelin associated glycoprotein	MAG		免疫グロブリンスーパーファミリーに属する細胞接着因子。中枢神経における神経再生の阻害に関わるミエリンインヒビターの一つ。
ミオクロームス	みおくろーめす	myoclonus			瞬間的な筋収縮ないし筋放電停止によってひきおこされる電撃的な不随意運動。
ミオパチー	みおぱちー	myopathy			筋疾患。筋力低下、筋痛などの症状を四肢近位部に認めることが多い。多発筋炎、筋ジストロフィーなどがこれに分類される。
ミトコンドリア脳筋症	みとこんどりあのうきんしょう	mitochondrial encephalomyopathy			ミトコンドリアのDNA異常により脳や筋肉に機能障害をきたす疾患の総称。
免疫介在性壊死性ミオパチー	めんえきかいざいせいえいしせいみおぱちー	immune-mediated Necrotizing Myopathy		壊死性筋炎	筋炎の中でも壊死再生線維の多発を主体とし、炎症性リンパ球浸潤の乏しい病理像を特徴とする病型で、臨床的には四肢近位部優位の左右対称性の筋力低下と筋萎縮、血清CK高値(4000～13000 IU/L)が特徴。
免疫グロブリン大量静注療法	めんえきじょうぶりんたいりょうじょうちゅうりょうほう	high dose intravenous immunoglobulin	IVIg		免疫グロブリン製剤の大量静注により、食食能の抑制、補体系の抑制、自己抗体の制御、炎症性サイトカインの抑制などの薬理作用を介して効果を発揮する治療法。
免疫チェックポイント阻害薬	めんえきちえっくぽいんとそがいやく	immune checkpoint inhibitors			免疫チェックポイント分子である抑制性受容体（CTLA-4やPD-1など）もしくはそのリガンドに結合し、抑制性シグナル伝達を遮断することによって、免疫系のブレーキを解除し、腫瘍に対する免疫応答を高める薬剤。
モルバン症候群	もるばんしょうこうぐん	Morvan syndrome		モルヴァン病、モルヴァン舞踏病	アイザックス症候群の典型的な症状に、大脳辺縁系の異常を示唆する空間的・時間的記憶力障害、幻覚、近時記憶障害、不眠、複雑な夜間行動障害や不整脈、便秘、尿失禁などの多彩な自律神経症状を伴う。
ヤコブ・クロイツフェルト病	やこぶ・くろいつふえんとびょう	Creutzfeldt-Jakob disease			全身の不随意運動と急速に進行する認知症を主徴とする中枢神経の変性疾患であり、プリオン病の一種。
有棘赤血球舞踏病	ゆうきよくせつけつきゅうぶとうびょう	chorea-acanthocytosis			有棘赤血球症と神経症候のうち舞踏運動を認める。大脳基底核の変性がその原因として考えられている。
溶連菌感染症関連小児自己免疫性神経精神疾患	ようれんきんかんせんしょうかんれんしょうにじこめんえきせいしんけいせいしんしっかん	pediatric autoimmune neuropsychiatric disorders associated with streptococcal infection	PANDAS		舞踏病や心臓炎、関節炎はないが、多様な急性神経精神医学的な症状を伴う強迫観念、強迫行為、および（または）チック症状が現れる疾患。
ライ症候群	らいしょうこうぐん	Reye syndrome			ライ症候群の原因は不明。インフルエンザや水痘などある種のウイルスによる感染症の後に発症する脳の炎症と腫れ、および肝臓の変性を引き起こす重篤な疾患。
ライム病	らいむびょう	Lyme disease			ノネズミやシカ、野鳥などを保菌動物としてマダニに媒介されるスピロヘータの一種であるボレリアの感染によって引き起こされる人獣共通感染症の一つで症状は多彩である。
ラスムッセン脳炎	らすむっせんのおうえん	Rasmussen encephalitis		ラスムッセン症候群	感染症をきっかけに難治なてんかんが発病し、片麻痺・精神発達遅滞・高次脳機能障害が起こる予後不良の自己免疫性中枢神経疾患。
Radiologically isolated syndrome	らでいおろじかりーあいそれいていっどしんどろーむ	radiologically isolated syndrome	RIS		多発性硬化症を示唆するMRI所見はあるが、無症状の患者と定義される。
ラムゼイ ハント症候群	らむぜいはんとしょうこうぐん	Ramsay Hunt syndrome			水痘・帯状疱疹（ヘルペス）ウイルスが内耳や顔面神経、蝸牛神経、前庭神経などに感染して生じる。外耳道内の湿疹や顔面神経麻痺、平衡機能障害（耳鳴、めまい、難聴など）、流涙などの症状を認める。
ランバート・イートン筋無力症症候群	らんばーと・いーとんきんむりょくしょうしょうこうぐん	Lambert-eaton myasthenic syndrome	LEMS		筋無力症の一つの形で筋力の減退、特に下肢筋力に顕著。肺癌などの悪性腫瘍に併発することが多い。
リウマチ性神経炎	りうまちせいしんけいえん	rheumatic neuritis			左右非対称に複数の末梢神経が障害される病態（＝多発性単神経炎）であり、結節性動脈炎などの血管炎や慢性関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどの膠原病でみられる。
リウマチ性髄膜炎	りうまちせいずいまくえん	rheumatoid meningitis			関節リウマチ患者に発症する軟膜を主体とした髄膜炎で、罹病率は低いものの無治療では非常に予後不良な疾患。
リウマチ性多発筋痛（症）	りうまちせいいたはつきんつう（しょう）	polymyalgia rheumatic	PMR		他に原因なく肩・腰周囲の筋肉痛を起こす疾患であり、血液で高度の炎症反応を認めるのが特徴であり、病因からは巨細胞性動脈炎との関連が示唆されている比較的高齢者に多いリウマチ関連疾患。
リチウム中毒	りちうむちゅうどく	lithium intoxication			リチウムは主として躁状態の治療薬として用いられるが、最適治療量と中毒量が近く、過量服用で中毒になりやすい。症状は消化器症状(嘔吐、下痢、口渇)、神経症状(振戦、言葉のもつれ、眼のかすみ、めまい)など。
ループスアンチコアグラント	るーぶすあんちこあぐらんと	lupus anticoagulant		ループス抗凝固因子	後天性に血中に出現する自己抗体で、凝固因子または凝固反応を阻害する循環抗凝集素の一つ。リン脂質依存性の血液凝固を阻害する免疫グロブリン。
レイノー病	れいのーびょう	raynaud's disease			基礎疾患や原因がなくレイノー現象を認める場合。
レトロウイルス	れとろういるす	reverse transcriptase-contain-ing virus (retrovirus)			RNAウイルスの種類の総称。
レフサム病	れふさむびょう	Refsum disease		フィタン酸酸化酵素欠損症, heredopathia atactica	無嗅覚症・早期発症の網膜色素変性症に末梢神経障害、難聴、小脳失調、魚鱗癬を特徴とする常染色体劣性遺伝性疾患で、ペルオキシソームに局在する phytanic-CoA hydroxylase (phyH) の欠損により血中のフィタン酸が増加する。
レンノックス症候群	れんのつくすしょうこうぐん	Lennox syndrome		レノックス・ガストー症候群	2-4歳の幼児に多く小発作としての脱力発作やミオクロームスを伴った欠神発作が頻発するもので、精神や運動の発達障害があり広範な脳障害によって起こるとされている。脳波が特徴的な異常を示す。
ワクチン接種後脊髄炎	わくちんせつしゅごせきずいえん	postvaccinal myelitis			ワクチンの副反応として生じる脊髄炎であり、急性播種性脳脊髄炎に分類される。
ワクチン接種後脳炎	わくちんせつしゅごのうえん	postvaccinal encephalitis			ワクチンの副反応として生じる脳炎であり、急性播種性脳脊髄炎に分類される。
ワルデンシュトレームマクログロブリン血症	わるでんしゅとれーむまくりょぐろぶりんけっしょう	Waldenström's macroglobulinemia		原発性マクログロブリン血症	形質細胞が癌化して異常に増殖して起こる疾患で、IgMを産生する細胞が異常に増殖する場合を原発性マクログロブリン血症と呼び、血清中に異常な免疫グロブリン（Mタンパクと呼ばれる）が検出される。

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
腕神経叢ニューロパチー	わんしんけいそうにゅーろ ぱちー	brachial plexus neuropathy	BPN		腕神経叢の障害による運動麻痺と知覚異常.